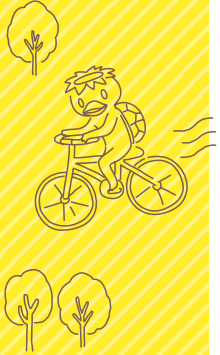




|| うしくて、どんなまち? ||

うしくを しって くらそう



USHIKU CITY
GUIDEBOOK

茨城県牛久市



うしくをじっくりとくたさい

こんにちは、^{いばらまけん うしくし}茨城県牛久市です。

牛久と聞いて、大仏様が思い浮かびましたか。

そう、牛久大仏すてきでしょう。牛久の自慢の一つです。



でも牛久の魅力はそれだけではないんです。

都心から電車で50分、成田国際空港から車で45分と都心や海外へのアクセスが

抜群ながら、牛久沼や里山などの美しい自然が広がります。

牛久は豊かな自然環境と充実した都市機能を持つまちです。



このガイドブックではあなたの知っている牛久と、あなたの知らない牛久を紹介します。

牛久の魅力をもっと知ってください。



《うしくDATA》

人口・世帯数



人口	83,920人
男性	41,381人
女性	42,539人
世帯数	38,558世帯

※2024年4月1日現在

市の面積



58.92 km²

公式キャラクター



© SHINOBU ARIGA

心やさしき怪人ラーシク

ラーシクは3人の子育て真っ最中のお父さん。お母さんのラースク、長男のラーポー、長女のラーコ、末っ子のラーチンの5人家族です。子どもたちの笑顔が大好きで、空から牛久のまちをパトロールするのが毎日のお仕事です。ハートのポケットは、楽しいことや悲しいこと、つらいこと…なんでも受け止める相談箱です。

ラーシクの生みの親はNHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」で人気だった「こんなこいるかな」の作家である有賀忍先生です。

USHIKU AREA MAP

JR常磐線の2つの駅を中心に、充実した都市機能を持ちつつ田園や里山など豊かな自然が広がる牛久市。
多彩な顔を持つ牛久市を4つのエリアに分けてご紹介します。

都心・海外へのアクセス抜群！

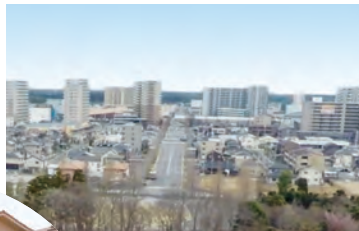
市内には2つの駅(牛久駅・ひたち野うしく駅)があり、JR常磐線で品川・東京駅まで乗り換えなしで行くことができ、都内への通勤・通学に最適な環境です。また、成田国際空港や茨城空港まで車で45分。どこに行くにも便利です。

東京まで電車で **約50分**
成田国際空港まで車で **約45分**
茨城空港まで車で **約45分**



Urban Area アーバンエリア ひたち野うしく駅エリア

ひたち野うしく駅を中心にスーパーやレストランが多数立ち並び、近くにはショッピングモールもあり利便性の高さを誇ります。また、ひたち野うしく小学校・中学校、牛久運動公園や大型の公園があり、ファミリーに人気の高いエリアです。



Artistic Area アーティスティックエリア 牛久沼エリア

茨城観光百選に選ばれている牛久沼周辺は風光明媚な景観が広がり、河童の絵で知られる小川芋銭や、作家・住井すゑなど多くの文化人に愛されてきました。現在も四季折々の景色を楽しみに、多くの市民がスケッチやハイキングに訪れるエリアです。



Central Area セントラルエリア 牛久駅エリア

牛久市の玄関口であり中心市街。国の重要文化財で日本遺産でもある牛久のシンボル「牛久シャトー」を構えるほか、一年を通してイベントが多数開催される賑わいのあるエリアです。牛久最大のイベント「うしかっば祭り」には市内外から20万人以上が訪れます。



Nature Area ネイチャーエリア 牛久東部エリア

のどかな里山や畑・田園が広がるエリアです。りんご園、ブルーベリー園などもあり自然豊かな暮らしが楽しめます。また、圏央道のインターチェンジ近くにはギネス世界記録認定の牛久大仏とあみプレミアム・アウトレットがあり観光客に人気があります。

子育て



妊娠中の方から18歳までのお子さんを持つご家庭が安心して過ごせるよう、切れ目のないサポートを行っています。

自校式給食

100%

牛久産野菜
たっぷり

全ての公立小・中・義務教育学校、公立幼稚園・保育園、社協保育園で自校方式給食を導入し、新鮮な地場産農産物を使用した美味しく豊富なメニューの給食を提供しています。



食育・栄養指導を行ったり、食物アレルギーに対応するなど、きめ細かに子どもたちの健康を支えています。また災害時には、避難所となる学校で調理し、温かい食事を提供することができます。

待機児童

0人

2020年度から待機児童が0に。子どもを安心して預けられる環境を整えています。

※国が定義している待機児童を算出したもの。例えば、第一希望の園に入園できないため保育園に入らない場合は待機児童としてカウントしていません。



子育て広場

6カ所



市内に常設広場が3カ所、出張広場が3カ所あり、就学前のお子さんとその保護者が安心して過ごせます。お誕生日会や季節ごとの楽しいイベント、子育てアドバイザーによる子育て相談なども実施。お子さん・保護者の友だちづくりや情報交換の場として気軽に遊びに行ける場所です。



18歳まで

マル補助成

0歳～18歳までの子どもに対し、健康保険証を使って病院や調剤薬局などを受診したときに、窓口で支払う自己負担分(一部負担金)を助成しています。

インフルエンザ予防接種助成

未就学児、中3、高3を対象に、インフルエンザの予防接種について負担額の一部を助成しています。



子ども家庭総合支援拠点 2023年6月にこども家庭課がリニューアルし、あわせて「子ども家庭総合支援拠点」が設置されました。仕切りのある窓口や相談室、キッズエリアを設け、これまでよりも安心して相談や手続きが行えます。

牛久自然観察の森



全国に10カ所しかない「自然観察の森」のひとつで、散歩やバードウォッチングなどができるほか、季節ごとに親子で楽しめるイベントも。施設内では木育体験として、木の砂場やドールハウスなど70種類以上の木のおもちゃで遊ぶことができ、雨の日も大人気です。



牛久運動公園



空気で膨らませたふわふわドームの上で裸足で飛んだり跳ねたり、気持ちいい～!

牛久中央図書館



おはなし会をはじめとする子ども向けのイベントを随時開催。

子育て世帯にうれしい!子どもと遊べるスポット

教育環境



一人残らず質の高い学びを保障するために、公立小・中・義務教育学校で「学びの共同体」による学校づくりを推進しています。

100%



コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことを指し、牛久市では全ての公立小・中・義務教育学校がコミュニティ・スクールです。学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、「地域とともにある学校づくり」を進めています。



防犯カメラ

全ての公立小・中・義務教育学校、公立幼稚園に防犯カメラを設置しています。新小学1年生にはヘルメットや防犯ブザーも配布。子どもたちの安全を守ります。

エアコン設置

公立小・中・義務教育学校の全ての教室にエアコンを設置。快適な環境で集中して授業に臨むことができます。

安心安全なまち

自主防災組織の結成数

57組織

大災害が発生したとき、被害を最小限に抑えるためには、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域住民による自主的な防災活動が重要となることから、自主防災組織の結成を支援しています。



医療機関の充実

2つの病院 49のクリニック

市内には2つの病院(牛久愛和総合病院、つくばセントラル病院)をはじめ、49のクリニックがあります(2024年4月1日現在)。隣接するつくば市には筑波大学附属病院があるなど、医療機関が充実しています。



住人の満足度

街の住みこちランキング

4年連続 第5位

実際に住んでいる人を対象に大東建託株式会社 賃貸未来研究所がアンケートを実施、住民による「街」の評価結果をランキングとして集計しています。牛久市は特に「交通利便性(3位)」「防災(3位)」「行政サービス(4位)」が高く評価されています。出典：いい部屋ネット 街の住みこちランキング&住みたい街ランキング2023(茨城県版)

数字でしる 牛久の魅力

ワインのまち

牛久シャトー

【住所：牛久市中央3-20-1】

明治期の実業家神谷傳兵衛が1903年(明治36年)に創設した、日本初の本格的ワイン醸造場。明治時代中期の醸造場の主要部がほぼ完全に残されており、高い歴史的価値があります。2008年(平成20年)に国の重要文化財に指定、2020年(令和2年)に山梨県甲州市とともに日本遺産に認定されました。敷地内にはレストランやショップもあり、歴史を感じながらワインを楽しめます。



【神谷傳兵衛記念館】
旧醸造室を利用した建物には大きなワイン樽が並び、当時の様子を感じることができます。2階には創設者の神谷傳兵衛の軌跡や、ワイン造りの資料が並びます。



【レストラン】ワイン貯蔵庫を改装したレストラン。煉瓦造りの店内ではカジュアルなフレンチとワインが楽しめます。



【ショップ】純牛久産ワインなど牛久シャトーオリジナル商品や、電気プラン、世界のワインなどのほか茨城県の特産品を販売しています。

日本遺産 認定

日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和 문화の結晶～

牛久シャトーを含む日本ワイン醸造の文化・歴史が日本遺産に認定されました。

【日本遺産とは?】文化庁が2015年度から創設した制度で、地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」に認定する仕組みです。



ギネス認定のまち

牛久大仏

【住所：牛久市久野町2083】

世界最大120mの青銅製仏像「牛久大仏」はギネス世界記録に認定されています。大仏様の足元には四季折々の花が咲き、春は桜・芝桜のコラボレーションが見事。数種類の花摘みもできます。秋は、コスモスが一面に咲き誇ります。大仏様の胎内も拝観することができ、地上85mまで上がれます。



いっしょってる?
うしく
自慢!!

うしくの自慢のポイントをまとめてみました!
全部知っていたら、うしく有段者!



【牛久市観光アヤマ園】【住所：牛久市城中町2831-2】
牛久沼のほとりで2万本の花が咲き誇る牛久市観光アヤマ園。そこには物思いにふけるかっぱの姿が…。



【うしくかっぱ祭り】メインイベントはその名も「河童ばやし踊りパレード」。「踊るかっぱに見るかっぱ」およそ1万人が舞い踊ります。



小川芋銭
「遊戯三昧」



かっぱのイラストが描かれた牛久市コミュニティバス「かっぱ号」がまちを走り、歩道橋にもかっぱの姿が。

まちじゅうがかっぱ! カッパ! 河童!

牛久沼には古くから「河童松」や「河童の秘薬」などのかっぱにまつわる伝説が語り継がれてきました。明治から昭和初期にかけて活躍した画家小川芋銭は、牛久沼のほとりに居をかまえ、幻想的で軽妙な筆致でかっぱの絵を数多く描き、「河童の芋銭」と親しまれました。現在でも、まちの至るところにかっぱのモニュメントが。牛久市観光協会のマスコットキャラクター「かっぱのキューちゃん」や「うしくかっぱ祭り」など、とにかく「かっぱ」が大好きな牛久市です。



市内のマンホール

市の給食で提供されている「いもまん!」



【かっぱのキューちゃん】

牛久市の「久(きゅう)」がかっぱの鳴き声を連想させることから名付けられました。普段は牛久沼に住んでいるそう。

イベントにも引ッ張りだニ
子どもたちに大人気!

かっぱのまち

おいしいまち



【うしく河童米】
農薬と化学肥料を通常の半分以下に抑えて生産し、茨城県の特別栽培農産物の認証を受けたコシヒカリです。



【落花生】茨城県は作付面積全国2位の産地で、特に牛久市をはじめとする県南地域で多く生産されています。女化町にある澤田茶園では、幻の落花生とも呼ばれる「黒落花生」を生産販売しています。

【澤田茶園】【住所：牛久市女化町30】



【うしく河童大根】

茨城県の青果物銘柄産地指定を受けている牛久のブランド野菜。色が白くみずみずしさが特長でサラダなどの生食に最適です。



【ヤマイチ味噌】【住所：牛久市島田町2713】

地元産の大豆や米など原材料にこだわり、代々受け継ぐ杉の木樽で仕込むみそが人気。みそ造り教室の開催や、「牛久のみそシヨコラ」などコラボ商品も展開。※次ページで紹介



【ポケットファームどきどきつくば牛久店】

【住所：牛久市猪子町967-1】

JA全農いばらき直営の農産物直売所&レストラン。新鮮で豊富な種類の農産物やお肉、加工品が並んでいます。



【長沼りんご園】

【住所：牛久市正直町1499-1】
りんごやブルーベリーが楽しめる観光農園。完熟堆肥や有機肥料を使い、できる限り減農薬で育てたりんごは、安心して皮ごと食べられます。



まちをしるほど 親子で楽しい、みんなで楽しい

吉原 美美子さん

フリーランスのデザイナー・アートディレクター。夫と3人の息子とともにひたち野に在住。2020年、子育て仲間とともに「牛久イケてる特産品プロジェクト」を始動し、地元の商品・団体などと協力しながらイベント開催や新たな特産品の開発を続けている。

納得できる環境で子育てがしたい

高校までを牛久で過ごした吉原さん。東京の美術大学進学を機に都内で暮らし始めました。卒業後は渋谷区のデザイン事務所に勤務後、フリーランスとして独立。デザイナーとしてキャリアを重ねていきました。

転機が訪れたのは28歳のとき。「長男を出産した後、自分のしたい子育てが都心では厳しいと感じ始めました。通っている保育園の園庭が狭かったり、売っている野菜の鮮度もイマイチ。人が多いわりにご近所のコミュニケーションが少なく、相談できる人もいない環境で子どもを育てることに不安がありました」

ちょうど夫の転職が重なり、「東京にこだわる必要はない」と思い、地元の牛久市に住むことを検討しました。夫の東京通勤も想定し、ひたち野うしく駅付



近で物件を探すと、家賃が都内の半額で広さが2倍、しかも駅近。大きなメリットを感じ、「仕事の無理ってなったらまた東京に戻ればいいのか」という気持ちでUターンを決めました。

子育て中だから見える牛久の魅力

牛久に住むと高校生までの自分が感じていた印象とは違った牛久の姿が見えてきました。

「常磐線で東京まで1時間かかると思っていたんですけど、品川駅まで伸びたし、昔より電車の本数が増えていて意外と便利でした」

長男が1歳で入園した保育園には都内通勤の父母も多く、「牛久は駅近の保育園もあるし、都内に通いながら子育てをする環境が充実している」と感じたそう。また、都心ならではの保育園入園準備、いわゆる「保活」の厳しさもほぼ無く、「保育園の争奪戦に参戦しなくても園庭のあるのびのびとした保育園に入園できるって本当にいいですね」東京に住んでいる頃に気になっていた部分も今は解消できているといいます。「直売所も近くて野菜は新鮮で安いし、

スーパーも充実しています」吉原さん一家が暮らすひたち野うしく駅エリアにはさらに魅力も。「新しい住宅地が多く市外から移住してきた人も多いのでオープンな雰囲気

の交流で視野が広がりました」また、新しく区画整理された道は歩道が広く「東京ではベビーカーを押す

のも怖かったけれど、ここでは安心して子どもたちを歩かせられます」牛久市の立地も子育てには抜群。

「動物園に行くにも電車に乗って上野動物園、車に乗って日立市かみね動物園にも行ける。都会と田舎のちょうど中間に位置していて、おでかけの選択肢が多いんです」

コロナ禍を経て「牛久イケてる特産品プロジェクト」始動！

牛久での充実した生活から、そのままひたち野で住宅を購入した吉原さんでしたが、2020年、感染症による行動制限が起きます。

「立地の良さもあって、それまでは気軽



- 1 子どもたちがパッケージデザインと販売を行う「うしイケキッズ隊」のマルシェ。
- 2 見晴らしのいい新地の高台。みんなでごはんを食べたり、ゆったり過ごしたり。
- 3 牛久沼近くの古民家カフェでうしイケで取り扱う商品の展示会を開催。
- 4 自由な発想を形にしていける吉原さんのデザイン。

に車で市外へ遊びに出かけていたのですが、全く出来なくなりました。それならば市内で親子が楽しめる活動をしたと考えました。同時に、牛久には昔から良い商品があるので、デザインを通してさらにその魅力を伝えられたらなと思い、友人たちに声を掛け、『牛久イケてる特産品プロジェクト(通称うしイケ)』を立ち上げました」うしイケでは、ヤマイチ味噌を使った「牛久のみそシヨコラ」を開発したり、メイコーパール®の商品を「meiko U」として新たにデザインしました。吉原さんはデザインでうしイケを支えます



※【メイコーパール】…牛久市中央にある真珠のアクセサリー店。高品質な淡水真珠を扱う。

が、「料理の得意なメンバーがみそシヨコラを開発したりしてそれぞれが自分のできることを担っています。うしイケには市外から移住してきた家族も多いので、牛久の魅力を伝えることで牛久をもっと知って一緒に楽しんでもほしいんです」

牛久のディープな自然・新地との出会い

牛久沼の近くでうしイケのメンバーが集まっていた時のこと、自然の中で子どもをのびのびと遊ばせたいのならと、「新地の台地で生きる会」を紹介されました。「自宅から車で15分くらいのところに、ヤギや鳥が自然にいて、高台からは牛久沼を見下ろすことができる場所があって、同世代のママたちもびっくりしていました」

ひたち野の住宅街とはまったく違う風景が広がる新地の魅力に、子どもたちだけではなく親たちもとりつかれてしまいました。今では「新地の台地で生き

る会」の方々と一緒に、アート教室をしたり、自然の中で種まきをしたりごはんを囲んだり、年間を通して親子で楽しめるイベントを開催しています。



これから牛久で子育てする人へ

「牛久は自然の中で子どもらしくのびのびと過ごせる場所がたくさんあります」と語る吉原さん。「自分たちの子育てがひと段落したら、新地の皆さんがしてくれたように親子を楽しませる側に回りたくです」と笑顔を見せました。

／ 興味のある方はこちら ／

牛久イケてる特産品
プロジェクト



お出かけにぴったりのスポットやイベントがたくさん

うしくの春・夏・秋・冬

春



ひたち野さくら公園



うしくのひなまつり



観音寺

夏



うしくかっぱ祭り



牛久大仏 万燈会



牛久沼かっぱの小径

秋



明治天皇記念碑公園



うしくWaiファイまつり



うしく菊まつり

冬



牛久シャトーの雪景色



牛久シティマラソン



プリアントヴィルうしく

うしくの情報はここから



市公式HP



牛久市ふるさと納税



市公式 X



市シティプロモーションX



市公式LINE



市公式Instagram



牛久市観光協会HP

